

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	水等価直径に基づく SSDE を用いた CT 患者線量評価法の構築と事前線量予測への応用
研究責任者（所属名）	宮地 優介 （嬉野医療センター放射線科）
本研究の目的	本研究は、CT 検査における患者線量評価方法の確立を目的とし、CT 画像から取得した場所ごとの管電流値を用いて放射線量を推定し、水等価直径（Dw）に基づく放射線量 SSDE を算出することで、患者さまの体格や検査した場所に応じた線量分布を評価する手法を構築するものである。CT 検査実施前に被ばく線量を推定し、医師が事前に線量を把握可能とする手法の確立を目指す。
調査データの該当期間	令和 7 年 4 月から 令和 8 年 3 月まで
研究の方法 （使用する試料等）	該当期間中に胸部もしくは腹部単純 CT、あるいはその両方の検査を実施した方の検査データから、CT 画像および以下の線量推定に係る情報を取得する。 ピクセルデータ、Pixel Spacing、RescaleSlope / Intercept、Exposure (mAs)、CTDIvol（シリーズ値）、ImagePositionPatient（z 位置） これらの情報から、統計解析として以下の項目を行う。 ・ SSDE（異なる 2 モデル）の比較 ・ Dw と SSDE の相関 ・ BMI と SSDE および SSDE-DLP の相関 ・ 従来の DLP との比較 各指標については相関係数および回帰分析を用いて関連性を評価する。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：管理課長
備考	